薬師池

薬師池の由来

薬師池はかつて「福王寺池」ともよばれ、天正5年（1577年）に北条氏照の印判状が野津田の武藤半六郎（河井家祖先）にくだり、水田用水池として天正18年（1590年）まで開拓されました。

その後、宝永5年（1708年）にこの溜池は泥砂で埋まり、大塚村、小山村、高ヶ坂村などから人足が出て、3年間を費やし泥砂をさらいました。しかし、文化14年（1817年）にふたたび泥砂で埋まり、渇水状態となったため、普請願を提出し、ひでりにあえぐ七町余歩（約7ヘクタール）の水田の水を得るため、溜池を掘りなおし、今日にいたっています。

1976年4月開園／公園面積141,654㎡
（薬師池　面積7,700㎡　貯水量約10,000㎡
水深0.9～1.8m）

旧荻野家住宅

東京都指定有形文化財（昭和49年8月1日指定）

旧永井家住宅

国指定重要有形文化財（昭和53年1月23日指定）

梅　園

3月開花　約250本（白梅、紅梅）

アジサイ園

6月中旬～7月上旬開花

薬医門

水　車

（昭和50年10月完成）

タイコ橋

ツバキ園

9月～5月開花 約400種 900本

紅　葉